



## 検査内容変更のお知らせ

---

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

この度、別掲の検査項目につきまして、検査方法および基準値等を変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

### 変更内容

---

- 別掲の一覧表をご参照下さい。

### 変更期日

---

- 平成 28 年 3 月 31 日(木) 受付日分より

# 検査内容変更項目一覧

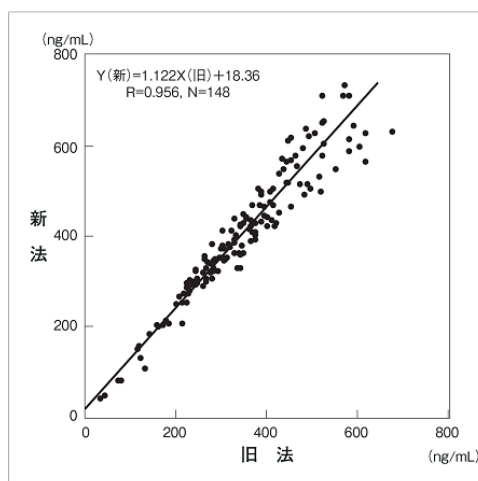
コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考 (総合検査のご案内)
590	トリプシン	検査方法	EIA [協和メデックス]	RIA(ニ抗体法) [セティ・メディカルラボ]	Non-RIA試薬の採用 12頁
810	総アミノ酸分画(血漿)	基準値表記	フィッシャー比:2.31~4.29*	フィッシャー比:2.3~4.3	基準値桁数の適正化 * フィッシャー比のみの 変更でその他の成分の 基準値の変更は ございません。 14頁
815	アミノ酸11分画(血漿)		フィッシャー比:2.31~4.29*	フィッシャー比:2.3~4.3	
1399	アミノ酸11分画(濾紙)		フィッシャー比:1.21~2.71*	フィッシャー比:1.2~2.7	
1682	レムナント様リポ蛋白 コレステロール (RLP-コレステロール)	検査方法	酵素法	免疫吸着法	17頁
		検体量	血清 0.5mL	血清 0.4mL	
		所要日数	3~5日	4~6日	
2099	薬物スクリーニング	検査方法	GC-MS LC-MS/MS	GC-MS	LC-MS/MS法の採用 (コカイン、ベンゾイル エクゴニン、THCカル ボン酸体のみLC-MS /MS) 33頁
2774	副甲状腺ホルモンwhole (whole-PTH)	検査方法	CLEIA [DS7アーマバイオメディカル]	IRMA(ビーズ固相法) [DS7アーマバイオメディカル]	Non-RIA試薬の採用 材料:EDTA血漿も可 38頁
		検体量	血清 0.4mL	EDTA血漿 0.5mL	
		基準値	8.3~38.7 pg/mL	9.0~39.0 pg/mL	
		所要日数	3~4日	4~7日	
1367	オステオカルシン(BGP)	検査方法	FEIA [東ソー]	IRMA(ビーズ固相法) [LSIメディエンス]	測定試薬の販売中止 39頁
		基準値	8.3~32.7 ng/mL	3.1~12.7 ng/mL	
		所要日数	3~6日	4~7日	
549	カテコールアミン3分画 (CA-3F-H 尿)	基準値表記	A :1.1~22.5 μ g/day NA:29.2~118 μ g/day DA:100~1000 μ g/day	A :1~23 μ g/day NA:29~120 μ g/day DA:100~1000 μ g/day	A :アドレナリン NA:ノルアドレナリン DA:ドーパミン 40頁
1526	遊離カテコールアミン 3分画(尿中) (遊離CA-3F)		A :0.6~14.1 μ g/day NA:9.7~41.4 μ g/day DA:120~310 μ g/day	A :1~14 μ g/day NA:10~41 μ g/day DA:120~310 μ g/day	
2289	3-メトキシ-4-ヒドロキシ フェニルエチレンジアミン (MHPG) (尿)		total 0.22~1.83 mg/day	total 0.2~1.8 mg/day	
547	セロトニン(5-HT)(血液)		血液:52.8~200 ng/mL	血液:53~200 ng/mL	
2377	セロトニン(5-HT)(血漿)		PRP:623 ng/mL 以下	PRP:620 ng/mL 以下	
1378	17-ケトステロイド3分画 (17-KS 3分画)		別掲参照	別掲参照	
1388	17-ケトステロイド7分画 (17-KS 7分画)		別掲参照	別掲参照	
728	プレグナンジオール(P <sub>2</sub> )	M :0.12~0.93 mg/day F(卵胞期):0.16~1.28 mg/day F(黄体期):0.69~4.70 mg/day F(閉経後):1.00 mg/day 以下	M :0.1~1.0 mg/day F(卵胞期):0.2~1.3 mg/day F(黄体期):0.7~4.7 mg/day F(閉経後):1.0 mg/day 以下	43頁	
729	プレグナントリオール(P <sub>3</sub> )	M :0.25~1.48 mg/day F(卵胞期):0.07~1.24 mg/day F(黄体期):0.25~1.58 mg/day F(閉経後):1.00 mg/day 以下	M :0.2~1.5 mg/day F(卵胞期):0.1~1.3 mg/day F(黄体期):0.2~1.6 mg/day F(閉経後):1.0 mg/day 以下		
562	総エストロゲン・非妊婦	所要日数	9~21日	9~15日	43頁
2785	抗IA-2抗体	所要日数	4~10日	5~11日	44頁

## 検査内容変更項目一覧

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考 (総合検査のご案内)
596	エリスロポエチン(EPO)	検査方法	CLEIA [ヘックマン・コールター]	RIA(ニ抗体法) [LSIメディエンス]	測定試薬の販売中止  45頁
		検体量	血清 0.7mL	血清 0.5mL	
		基準値	4.2~23.7 mIU/mL	9.1~32.8 mIU/mL	
		所要日数	3~4日	4~7日	
1213	プロテインS活性	検査方法	凝固時間法	APTT凝固時間法	
		検体量	血漿 0.4mL	血漿 0.2mL	
		基準値	M 67~164 % F 56~126 %	60~150 %	
		所要日数	3~5日	3~7日	

## トリプシン

### 新旧二法の相関



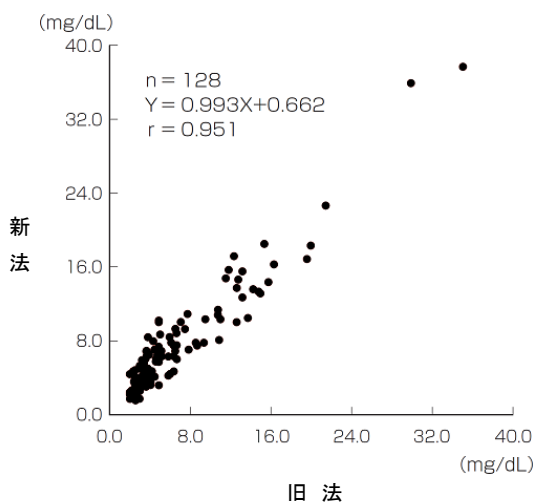
(LSIメディエンス検討データ)

#### □参考文献

- 河野 幹彦, 櫻林 郁之介 : 医学と薬学 53 : 635-641, 2005.  
宮谷 博幸, 他 : 医学と薬学 56 : 771-775, 2006.

レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-コレステロール)

新旧二法の相関

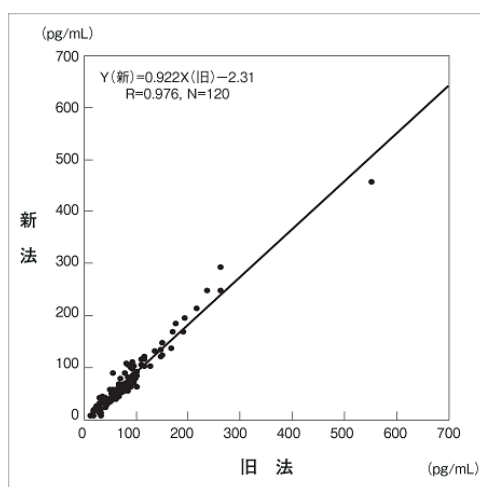


参考文献

大石 千早, 他: 日本臨床検査自動化学会誌 35(1) : 83~87, 2010.

副甲状腺ホルモン whole(whole-PTH)

新旧二法の相関



(LSI メディエンス検討データ)

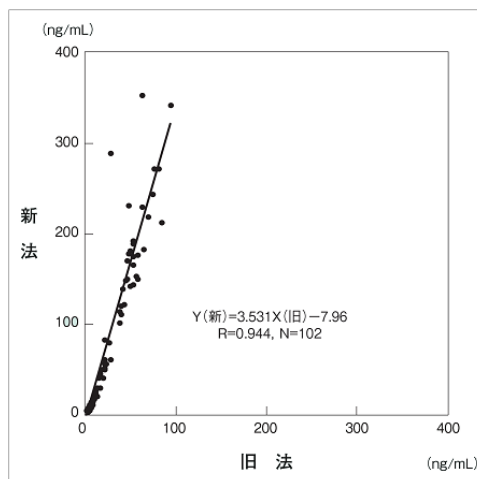
参考文献

森山 和重, 他: 医学と薬学 70 : 829-836, 2013.

## オステオカルシン(BGP)

現行試薬の販売中止に伴い、オステオカルシン(BGP)の測定試薬をNon-RIA試薬に変更致します。新試薬はインタクトオステオカルシンだけでなく、オステオカルシンの分解産物も認識するため測定値が高値化しますが、より正確に骨代謝回転状態を反映するため、病態をさらに明確に把握することが可能となります。

### 新旧二法の相関



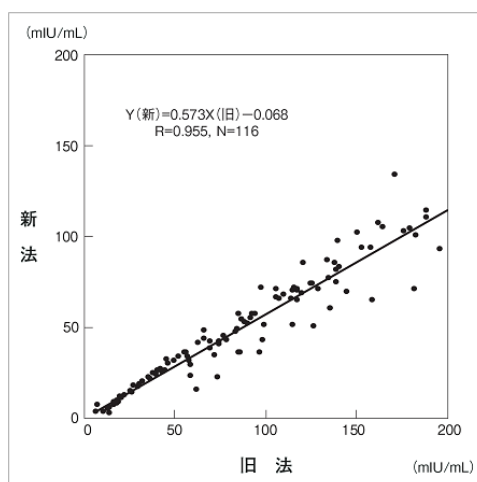
(LSI メディエンス検討データ)

#### □参考文献

戸来 孝, 他: 日本臨床検査自動化学会誌 40: 52-57, 2015.

## エリスロポエチン(EPO)

### 新旧二法の相関



(LSI メディエンス検討データ)

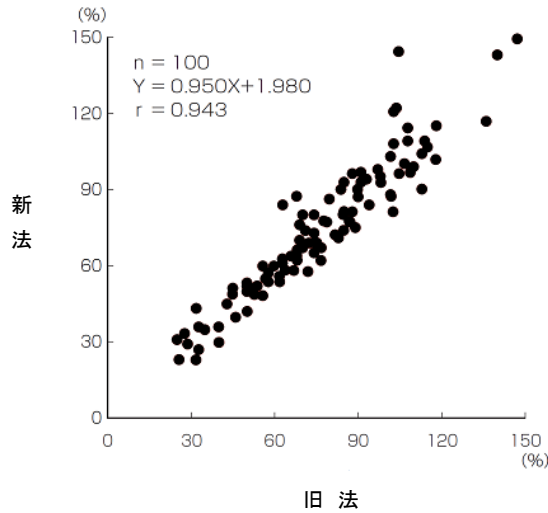
#### □参考文献

増田 詩織, 他: 医学と薬学 67: 297-306, 2012.

市原 清志: 日本臨床検査自動化学会誌 37(suppl. 1): 15-35, 2012.

プロテイン S 活性

新旧二法の相関



17-ケトステロイド分画(17-KS 分画)

基準値

		新(mg/day)		旧(mg/day)		
		男性	女性	男性	女性	
7 分 画	3 分 画	アンドロステロン	1.12~4.71	0.22~2.78	1.1~4.8	0.2~2.8
		エチオコラノン	0.43~3.23	0.10~2.39	0.4~3.3	0.1~2.4
		デハイドロエピアンドロステロン	2.92 以下	1.49 以下	3.0 以下	1.5 以下
	11-ケトアンドロステロン	0.50 以下	0.48 以下	0.5 以下	0.5 以下	
	11-ケトエチオコラノン	0.08~0.63	0.62 以下	0.7 以下	0.7 以下	
	11-ヒドロキシアンドロステロン	0.39~2.04	0.19~1.17	0.3~2.1	0.1~1.2	
	11-ヒドロキシエチオコラノン	0.54 以下	0.75 以下	0.6 以下	0.8 以下	